



男性問題の現場から考える

ジェンダー平等と 暴力のない社会をめざして

2026/2/15 sun. 14:00-16:30

講師：中村 正 さん

(立命館大学特任教授・名誉教授／一般社団法人UNLEARN 代表理事)

40年に渡り、制度・政策と心理臨床の両側面から、男性性と暴力の臨床社会学的研究に取り組む。内閣府や厚生労働省、自治体における政策検討の場における政策・制度策定に尽力すると共に、一般社団法人UNLEARNを設立。ジェンダー平等に男性がどう貢献できるかを問いかけている。

■ あすてっぷKOBÉ セミナー室 (神戸市中央区橘通3丁目4-3)

■ 対象 ジェンダーの視点をもって対人支援を行いたい方
テーマに関心のある方

■ 参加費無料

■ 定員50名、先着順

<https://fck20260215.peatix.com>



右記Peatixよりお申し込みください (〆切：2/14)

※ 使用言語：音声日本語 (自動文字起こし使用予定)

※ 参加にあたって必要な配慮がございましたら、遠慮なくご相談ください

"被害者支援"としての"加害者変容"を 社会構造と心理臨床の両面から考える

DV防止法が成立してから25年。かつて「夫婦のもめごと」「痴話げんか」と見過ごされた訴えは「社会が取り組むべき課題」と認識されるようになりました。

しかし、現状のDV被害者支援制度は“被害者が加害者から逃げることを前提としており、被害者に大きな負担がかかっていることに変わりはありません。

そこで今回の講座では、「加害者変容」について学びます。

被害を受けた人が逃げ続けるだけではないという希望を社会が見出すためには、何が必要でしょうか？ そこにジェンダー（社会的、文化的につくられた性別の線引きや役割）はどのように関係するのでしょうか？

講座形式で学んだ後、質疑応答を通してみなさんと一緒に考えを深めたいと思います。

主催・お問い合わせ先  NPO法人フェミニストカウンセリング神戸

femi-ko@nifty.com 078-360-6211

令和7(2025)年度 神戸市DV被害者支援者養成研修事業